

特集Ⅱ 追悼：鑪 幹八郎先生

鑪幹八郎先生と日本心理臨床学会大会

瀧 口 俊 子

放送大学名誉教授

京都文教大学光暁館の研究室で、ある日、鑪先生が「日本心理臨床学会の第 19 回大会を本学で開催したいので、実行委員長を担って欲しい」と言われました。

全く予期しなかったことでしたが、京都文教大学開学の年に「第 1 回学校臨床心理士（文部省委託事業スクールカウンセラー）全国研修会」を行い、教員・職員・学生の協力の良さを体験しておりましたし、開学直後から教員による「京都文教大学臨床心理学研究会」を結成し、本学学術顧問の河合隼雄先生にお越しいただいての事例検討会を重ねていましたので、「お引き受けできると思います」と即答いたしました。

早速、臨床心理の先生方全員で役割分担をいたしました。秋田巖先生（救護）、今井皖弼先生（総合案内・昼食）、禹鍾泰先生（自主シンポ・懇親会）、越智浩二郎先生（基礎的研究発表）、香川克先生（会場・学生係員）、駒込勝利先生（受付・クローク）、酒木保先生（ポスターセッション）、清水佐保子先生（受付・クローク）、高田

夏子先生（休憩室）、高石浩一先生（事例研究・事例討論）、豊田園子先生（ワークショップ）、名取琢自先生（講演・シンポジウム）、林昭仁先生（本部長）、森谷寛之先生（事務局長）、瀧口俊子（準備委員長）京都文教短期大学の河合由里先生（託児室）、心理臨床センターの中村博文先生（事務局長補佐）、鈴木加代子さん・伊藤奈津子さん・福永友佳子さん（接待）。

そして、名誉大会長に、学長樋口和彦先生、学術顧問の河合隼雄先生と、非常勤講師の岡田康伸先生・木村晴子先生・東山弘子先生・山中康裕先生には、大会企画への助言をお願いいたしました。

沢山の職員の方々・守衛さん・スクールバスの運転手さん、等などの本学関係者の温かい支援も忘れることはできません。

香川先生の指揮のもと適確に役割を果たした学生（アルバイトではなく）係員 30 名については、『京都文教大学心理臨床センター紀要第 3 号』に香川先生によって「心理臨床学会をめ



写真①



写真②

ぐる学生係員のチーム作りについて」が報告されています。

京都文教大学教授で日本心理臨床学会理事長鐘幹八郎先生の大会発想は、見事に成功しました。鐘先生の誠実なお人柄によって京都文教学園がひとつになった、日本心理臨床学会の歴史にも残る大会であったと思います。

穏やかながら芯の通った鐘先生を尊敬申し上げ、まだまだ心理臨床ワールドを率いていただけると思っておりました。

突然のお別れが、残念でなりません。

鐘幹八郎先生を囲む写真

- ① 松田真理子先生が日本心理臨床学会奨励賞を受賞された日。
- ② ゼミ合宿で鐘先生と花火を楽しむ。